

たのしかった1年生

1年松組 岩田 恵実

わたしが1年生で一ばんたのしかったことは、うんどうかいです。とくに、玉入れがたのしかったです。なぜ玉入れがたのしかったかというと、玉をかごに入れるのがおもしろかったからです。1こははいつたので、うれしかったです。また、みんなでやりたいです。

二つ目は、あさがおがさいたときです。どんないろのあさがおがさくか、わからなかったけれど、水をまいにちあげてさいたとき、うれしかったです。つるが、じぶんのしんちようよりたかくて、びっくりしました。

三つ目は、なわとびです。みんなとたのしく、れんしゅうしました。あやとびが、3かいはじめてとべるようになって、うれしかったです。2年生になったら、20かいぐらいとびたいです。

はじめて学校にきてどきどきしたにゆうがくしきから、どんだんなれて、いろんなともだちができました。きゅうしょくがおいしくておかわりもしました。じゅぎょうはむずかしかったけど、いつもみんなといっしょにがんばってきて、そんな学校がだいすきになりました。やすみじかんにあそんだり、いろいろ学校のことをしたり、いろんなことができるようになって、うれしかったです。いろんなことをべんきょうして、いろいろおぼえました。これからも、できるようになったことや、できないことにもチャレンジしてみたいです。そして、6年生みたいに、1年生にやさしくしてあげたいです。これからも、たのしくがんばりたいです。



1年生でがんばったこと、2年生でがんばりたいこと

1年竹組 三田 遥斗

入学したとき、知らないともだちばかりで、とてもきんちようしていました。ドキドキしたけど、じぶんから「ともだちになろう。」といったら、ともだちをたくさんつくることができました。休みじかんには、大すきなおにごっこをしてあそびました。はしるのがはやい子がいて、びっくりしましたが、とてもたのしかったです。

1年生で1ばんがんばったことは、なわとびです。ぼくは、うしろとびをつづけてとぶ

ことができませんでした。れんしゅうをしていると、なわとびけんていのおにいさんが、「もうすこし、手をおなかにつけたらできるよ。」とおしえてくれました。そのとおりにやってみたら、たくさんとべるようになって、うれしかったです。そして、おにいさんは「すごいなあ。」とおもいました。いまは、あやとびがとべるように、いっしょうけんめいれんしゅうをしています。なわとび名人になれるようがんばりたいです。

2年生でがんばりたいことは、学校たんけんです。なぜかという、学校たんけんの日、はじめはふあんだったけど、2年生からこえをかけてもらえて、ぼくも、はなしをすることができるようになり、たのしくたんけんすることができたからです。また、いろいろなきょうしつがあって、びっくりしていると、2年生が、くわしくせつめいしてくれて、「かっこいいなあ。」とおもいました。ぼくも、2年生になったら、1年生にやさしくはなしかけて、さくら小学校のことをたくさんおしえてあげたいです。しん1年生が入学してくる日が、とてもたのしみです。



1年間がんばったこと

5年松組 加藤 紗千

私がこの1年がんばったことは、「プリン」という学級目標を、5年松組全員で達成することです。この「プリン」という学級目標を、どんな行事でも大切にしました。

「プリン」に込められた願いは、3つあります。一つ目は、「仲良しクラス」です。プリンは、カスタードとキャラメルがあってこそプリンですよ？ 5年松組も、男女がいて5年松組です。お互いの良いところを生かしていこうという願いが込められています。これを達成するために、私たちは、「大縄跳び100回以上！！」に挑戦しました。4月は、10回も続けてとぶことができませんでした。みんな、何度も何度もくり返し練習し、誰かが失敗しても「大丈夫！ 大丈夫！」と、男女関係なく励まし合いました。そうしていると、私はこのクラスが「プリン」に近づいている気がしました。そして、11月には、110回もとべるようになりました。とってもうれしかったです。その他にも、卒業式の準備・片付けでは、力のある男子がひな壇を運び、女子がイスを並べるなど、協力して効率よく動くことが自然とできるようになっていました。それは、仲の良いクラスだからこそできたことだと思います。

二つ目は「心優しいクラス」です。プリンは、甘くておいしいですよ？ おいしいも

のを食べると、みんな笑顔になります。5年松組も、一人一人がプリンのように、人を笑顔にする優しさを持ち、みんなが安心して過ごせる教室をつくろうという願いが込められています。これを達成できた行事は野外活動です。野外活動では、夕食を作るのも、シーツをしくのも、すべて自分たちでしなければいけません。それには、「心優しく、困っている人を助ける」ということが、すごく大切になってきます。一人でやろうとすると、時間がかかったり、難しくてできなかつたりすることもありました。でも、助け合って協力してくれる人がいたから、一人でやるよりも早くできました。助けられた側も助けた側も、とてもうれしい気持ちになったと思います。みんなの優しさをたくさん発見できた行事でした。

三つ目は、「けじめのあるクラス」です。やるときはやる！ 勉強、運動、遊びのどれも一生懸命にするという意味です。プリンは、プルンプルンしているけれど、崩れませんよね。そんなプリンのように、おどろだしたくなるような楽しさを持ちつつも、絶対にバラバラにならないように、けじめを大切にしようという願いが込められています。運動会の組立体操では、みんなの気持ちを一つにし、集中していないとけがや事故につながります。でも、けが人もなく成功したということは、けじめがしっかりあったからだと思います。また、卒業式では、気持ちよく6年生を送り出そうという強い思いをみんながもち、集中した態度で臨めました。大きな口を開け、歌を歌い、聴いている人の心に届く歌声だったと思います。

このように、私は、5年生の1年間で、協力・笑顔・けじめ、この3つの大切さを学びました。たくさんの経験をして、「プリン」に込められた「仲良しクラス」「心優しいクラス」「けじめのあるクラス」の3つの願いを、しっかり達成することができました。来年度は6年生、最高学年です。今までの経験をいかし、桜小学校を笑顔でいっぱい素敵な桜小学校にしたいです。



5年生でがんばったこと

5年竹組 梅田若奈

わたしが5年生の間ががんばったことは、3つあります。一つ目は、3学期に歌う朝の歌、「ベストフレンド」をひいたことです。わたしは最初、全校の前で一人ピアノをひくのが、とても緊張してこわかったです。そして、みんなが歌っているときに、間違えてしま

ったらどうしよう、とばかり思っていました。けれど、友達が「がんばってね」と言ってくれたので、「間違えずにひくぞ」と思いました。みんなの前で初めてベストフレンドのばんそうをひくとき、とても緊張して手がふるえてしまいました。けれど、ひきはじめたら緊張がとれて、間違えずにひくことができました。次にひいたときは、終業式でした。そのとき、また、「絶対間違えるな」と不安になってしまいました。そして、その緊張のせい、ひいている途中で少し間違えてしまいました。そして、その後の朝礼で毎回ひいている時も間違えてしまいました。「どうして、最初にベストフレンドをひいたときは間違えずにひけたのに、今は間違えてしまうようになってしまったんだろう」と不思議に思いました。その後、家に帰ってから、たくさん、たくさんピアノの練習をしました。すると、間違える回数がだいぶ減りました。そのときは、とても嬉しかったです。わたしは、「たくさん練習をすればできるようになるんだな」と思いました。

がんばったことの二つ目は、部活動です。わたしは、バトン部に入りました。5年生や6年生になると、バトンの回し方も増えて、難しくなってきました。わたしは、そのときも不安しかありませんでした。「こんな難しい回し方なんてできないかも」と思いました。けれど、夏休みの間にたくさん練習をしたら、運動会当日の日にバトンを落とさずに演技ができました。とても嬉しかったです。

がんばったことの三つ目は、自主勉強です。わたしは、算数がとても苦手でした。なので、算数を中心に自主勉強をし、算数の苦手をこくふくしようと思いました。けれど、はじめはなかなか自分が思っているようにうまくは勉強ができず、すぐにやめてしまいました。そうしたら、だんだん算数がわからなくなっていました。「このままではいけない」と思い、わたしはたくさん自主勉強をすることにしました。すると、算数の問題が解けるようになりました。これからも、たくさん自主勉強をしていきたいです。

これらの経験から、努力をすれば、どんなこともできるようになることを学びました。来年は、6年生です。みんなと協力し合い、いろいろなことを成功させていきたいです。

